



(写真) Maduradas “Bloomberg 9月にトランプ政権元高官とホルヘ・ロドリゲス元情報通信相が極秘会談”

2020年10月21日(水曜)

政治

[「トランプ政権元高官 マドゥロ政権と極秘協議
～ポンペオ国務長官 極秘会談知らされず?～」](#)

[「OAS ベネズエラ国会議員選を非難」](#)

経済

[「ロイター通信 バイデン候補当選後
イランとベネズエラの石油産業制裁を解除?」](#)

[「カプリレス元知事 産業界に協力呼びかけ」](#)

[「ドイツ銀行 在スペインベネ領事館の口座凍結」](#)

社会

[「パルケデルエステ 7カ月を経て再び開園」](#)

2020年10月22日(木曜)

政治

[「TSJ 米国にシモノビス氏の引き渡し要請」](#)

経済

[「ドル ATM 利用 8つのポイント」](#)

[「CENDAS-FVM 9月基礎食料費253ドル」](#)

[「9月 ドル建て預金が先月比35.8%増」](#)

[「英 GOLD 訴訟 グアイド政権 訴訟費不払い」](#)

[「Nabarima 原油船上受け渡し開始」](#)

[「家庭用ガス不足 構造的に解決不可能」](#)

社会

[「カラカス住民の74.1% 食事量減らした」](#)

2020年10月21日（水曜）

政治

「トランプ政権元高官 マドゥロ政権と極秘協議
～ポンペオ国務長官 極秘会談知らされず?～」

10月21日 米国メディア「Bloomberg」は、9月にトランプ政権元高官とマドゥロ政権のホルヘ・ロドリゲス元情報通信相（表紙の写真、右の人物）がメキシコシティで極秘で会談を行っていたと報じた。

トランプ政権から派遣された高官の名前は Richard Grenell 氏（表紙の写真、左の人物）。20年5月まで米国国家情報局（DNI）長官を務めていた人物。ドイツの米国代表大使も務めていた。

「Bloomberg」が米国国務省の内部関係者から入手した情報によると、ポンペオ国務長官は事前に両者の協議について知らされていなかったという。

しかし、大統領補佐官（国家安全保障問題担当）を務める Robert O'Brien 氏がトランプ大統領の承認を受けて、Richard Grenell 氏をメキシコに派遣したという。

同協議で両者が具体的にどのような対話をしたのかは分かっていないが、米国側は改めてマドゥロ大統領の退陣を求めたようで、ホルヘ・ロドリゲス元情報通信相はその求めを拒否したようだ。

翌22日 マドゥロ大統領は、同日行われるトランプ大統領とバイデン候補のディベートについて触れながら、「Bloomberg」の記事についても言及した。

「米国から「ディベート」の招待を受け、ホルヘ・ロドリゲス氏を派遣しようとした。一部のメディアではホルヘが私の退陣について交渉をしたと報じている。

私が出るのはベネズエラではなく、海岸だ。私は、シリア（マドゥロ大統領の妻）と海岸に行こうと考えていた。」と言及。

ホルヘ・ロドリゲス元情報通信相は、マドゥロ大統領自身の指示で米国との交渉に参加しており、自分を裏切って交渉をしていたわけではないと間接的に述べた。

「OAS ベネズエラ国会議員選を非難」

10月20日～21日にかけて「米州機構（OAS）」の総会が開催された。

同総会では、ベネズエラとニカラグアの選挙が争点となっている（「[ベネズエラ・トゥデイ No.513](#)」参照）。

10月21日 12月に予定されているベネズエラの国会議員選について議論。

「12月の国会議員選は民主主義と呼べる最低限の条件を満たしていないため、その結果を認めない。」との決議を賛成多数で承認した。

同決議の賛成は21カ国、反対は4カ国、棄権は9カ国。

反対したのは、ドミニカ国（ドミニカ共和国とは異なる）、ニカラグア、セントビンセント・グレナディーン諸島、アンティグアバーブダ。

リマグループとは異なる方針を示している、アルゼンチン、メキシコは棄権した。

また、21年に予定されているニカラグアの大統領選について、米州機構として独立監視団の派遣を要請する決議については、賛成20カ国、反対2カ国、棄権12カ国で承認された。

経 済

「ロイター通信 バイデン候補当選後
イランとベネズエラの石油産業制裁を解除？」

10月21日 「ロイター通信」は、米国大統領選でバイデン候補が当選した場合、イランとベネズエラの石油産業への制裁を緩和するだろうと報じた。

17年にトランプ政権が就任してから、イランとベネズエラの石油産業に制裁を発動。この制裁により日量300万バレル（世界の原油供給量の3%）が減少したと報じた。

民主党の選挙対策アドバイザーの Leopoldo Martinez 氏は、ベネズエラについて「バイデン氏は、18年の大統領選を認めておらず、マドゥロ政権が違法に政権を奪っているとの認識では、トランプ大統領と一致している。

恐らくバイデン氏は、しばらくの間は PDVSA への制裁を継続するが、産業界と協議した上で、次第にこの方針を変えていこう。」との見解を示した。

また、バイデン候補は、ベネズエラに対して人道支援を受け入れるよう圧力をかけることになるだろうとした。

「カプリレス元知事 産業界に協力呼びかけ」

主要野党「第一正義党 (PJ)」のリーダーで、13年、14年の大統領選の野党統一候補だったエンリケ・カプリレス元ミランダ州知事は、スリア州のマラカイボ商工会議所の会合で演説。

カプリレス氏は同会合で現在の野党の方針を非難。

産業界に対して、現在の野党の政治方針に対して苦言を呈するよう呼びかけた。

具体的には、17年10月に行われた州知事選でスリア州は野党候補 (PJ のファン・グアニバ議員) が当選したにも関わらず、制憲議会に州知事就任を宣誓するのを拒み、州知事の権利を放棄した方針が間違いだったとの見解を示した ([「ウィークリーレポート No.17」](#))。

なお、「[ウィークリーレポート No.17](#)」でも書かれているが、当時はカプリレス氏自身もグアニバ議員の方針に賛成しており、制憲議会でも州知事就任を宣誓した野党系知事らを非難していた。

カプリレス元知事は、この点について「正しいことを行うという誤りを犯した」と、当時の認識は間違っていたとの見解を示した。

また、「現在の野党は存在していない団結があるように見せており、現在の方針では政権交代は無理であることを認識しながら、方針を変えることが出来ないでいる」と野党の方針転換の必要性を訴えた。

他、トランプ政権が示した「全てのオプションが卓上にある」とのベネズエラに対する方針は、ベネズエラ国民に誤った期待を持たせてしまったとトランプ政権の方針についても非難した。

最後に、「米国の経済制裁がガソリン不足や経済停滞を引き起こしている側面は否定できず、国民と産業界はこの制裁の大きな被害者であるはずだ」と主張。

政治の矛盾を正すには産業界が野党政治および米国の方針に進言する必要があると訴えた。

カプリレス元知事が主張する通り、企業団が制裁停止を求めることは政治家が制裁停止を求めるよりも遥かに説得力がある。

野党・米国が制裁を強化する建前は、「独裁政権を倒壊させるため」だが、根本的な目的は「国民を救うため」である。

仮に産業界が「制裁をやめてほしい」と求めれば、「国民を救うために制裁を科している」という建前が失われ制裁を強化する正当性がなくなる。

ただし、制裁緩和はマドゥロ政権の延命を手助けすることにもつながり、反マドゥロ派が大半を占める産業界でそのような方針を取ることは容易ではないだろう。

一方、商工会議所がグアイド議長ではなく、カプリレス氏を登壇させたことは特筆に値し、今後、産業界が制裁緩和を求める可能性があるのかもしれない。

カプリレス元知事が既存の野党の方針や経済制裁に否定的で選挙を通じた政権交代を模索すべきだとの主張をしている点については周知のことだ。

マラカイボ商工会議所が敢えてカプリレス元知事に登壇させたのは、同商工会議所の役員がカプリレス元知事の方針を支持しているからと考えるのが自然だろう。

「ドイツ銀行 在スペインベネ領事館の口座凍結」

10月21日 マドゥロ政権の在スペイン（バルセロナ）ベネズエラ領事館は、ドイツ銀行が10月5日から同領事館の口座を凍結したと訴えた。

「ドイツ銀行は、一切の説明もなく、バルセロナのベネズエラ領事館の口座を10月5日から凍結している。

この口座は領事手続きの支払いを受け付けるためにのみ使用している。

これにより、スペインに住む領事関連の手続きを行う必要がある全てのベネズエラ人に影響を及ぼす。また、ベネズエラで使用できる運転免許、その他ビザ発行などを必要とするスペイン国民にも影響を与える。

ドイツ銀行による一方的な凍結を強く非難する。」と訴えた。

社 会

「パルケデルエステ 7カ月を経て再び開園」

マドゥロ政権は、10月19日から Covid-19 感染防止のための措置をこれまでよりも緩和した。

緩和措置を受けて、10月20日から「パルケデルエステ（東部公園）」が開園した。同公園は3月から閉鎖されており、開園は7カ月ぶりとなる。

「パルケデルエステ」は、日本人駐在員が集まっていた地域であるチャカオの近くの大きな公園。

「パルケデルエステ」には多くの人が集まるため公園内の治安はまだ良い方とされている。治安の問題で外出が制限され、運動不足になりがちなベネズエラで同公園を散歩するのが習慣だった駐在員もいることだろう。

7カ月ぶりの開園だったが、この間、公園の手入れは行き届いていなかったようで、公園が荒れているとネットで報じられた。

写真を見る限り、園内に雨水が残り湖のようになってしまっている写真などがあり、多少劣化したようにも見えるが、そこまで状態はひどくないように思えた。



(写真) @Naldoxx“ パルケデルエステの写真”

2020年10月22日（木曜）

政治

「TSJ 米国にシモノビス氏の引き渡し要請」

10月22日 最高裁の刑事法廷は、米国政府に対してイバン・シモノビス氏の引き渡しを要請した。

罪状は、マドゥロ大統領の暗殺を計画した罪。

シモノビス氏は2004年から拘束されており、16年に自宅軟禁になっていた。そして、19年6月に自宅から逃亡。コロンビア経由で米国に亡命した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.309](#)」参照）。

現在は、グアイド政権の大統領補佐官（国家安全保障問題担当）の役割を担っている。

20年5月に起きた「Gedeon オペレーション」の実行グループ「Silver Corp USA」と交わした軍事契約には、J.J.レンドン氏とセルヒオ・ベルガラ議員とグアイド議長の名前が載っているが、シモノビス氏も同契約に関与した人物の1人とされている。

もちろん、米国政府がシモノビス氏をマドゥロ政権に引き渡す可能性はゼロで、最高裁の要請はあくまでマドゥロ政権としてのポーズの意味しかないだろう。

経済

「ドルATM利用 8つのポイント」

「[ベネズエラ・トゥデイ No.512](#)」で、11月7日からベネズエラでドルを引き出すATMの稼働が始まるとの記事を紹介した。本件について、追加情報があるので重要ポイント8つを紹介したい。

1. 利用者は事前に「AKB Fintech」のウェブサイトが必要事項の登録を行わなければならない。登録後にデジタルウォレット「MIA」のアプリケーションをダウンロード出来る。
2. デジタルウォレットを通じてATMでの外貨の引き出しに加えて、外国への送金、両替、ドル建ての貯金などが可能。
3. 「AKB Fintech」は様々な手段での入金オプションを用意している。クレジットカード、デビットカードでの入金。Paypalでの入金。「American Time Holding」のプラットフォームを利用すればギフトカードを使用して現地通貨から入金することも可能。
4. ATMでの外貨引き出しは、「MIA」が使用者に事前に暗号を通知。その暗号を用いて引き出すことが出来る。暗号は引き出しの度に変更される。
5. ドル建てATMの引き出し上限額は200ドル、最少額は20ドル。
6. ATMから出てくるドル札は5ドル、10ドル、20ドル。
7. 「AKB Fintech」の口座からの送金は「連邦預金保険公社(FDIC)」で保証されており、口座保有者は25万ドルまで保証される。
8. 「AKB Fintech」に預けられた現金は米国の「Suntrust銀行」に預けられる。

「CENDAS-FVM 9月基礎食料費253ドル」

物価の調査をしている民間団体「CENDAS-FVM」は、20年9月の基礎食料費(5人家族が通常の食生活を送るのに必要な金額)を発表した。

CENDAS-FVMによると、20年9月の基礎食料費は先月比24.2%増のBs.114,028,154.47。ドルに換算すると253.39ドルになる。

20年1月～9月の9カ月間の累積インフレ率は647.6%。18年10月から19年9月までの12カ月のインフレ率は1,586.8%となっている。

なお、先日「CENDA」が基礎食料費を公表した。「CENDA」が公表した基礎食料費は、72,058,601.65(ドルに換算すると165ドル)で「CENDAS-FVM」の調査より低い金額となっているが、物価上昇率は先月比25%と「CENDAS-FVM」とほとんど同じ。



CENDAS-FVM
Centro de Documentación y Análisis Social de la Federación Venezolana de Maestros
Center of Social Analysis and Documentation of the Venezuelan Federation of Teachers

CANASTA ALIMENTARIA FAMILIAR

La Canasta Alimentaria Familiar -CAF-, conformada por 60 productos, en septiembre de 2020 tiene un precio de Bs. 114.028.154,47 \$253,39. Aumentó Bs. 22.194.096,48 \$49,32, 24,2% con respecto al costo de la canasta del mes de agosto de 2020.

CEREALES Y PRODUCTOS DERIVADOS	27,2
CARNES Y SUS PREPARADOS	30,9
PESCADOS Y MARISCOS	29,1
LECHE, QUESOS Y HUEVOS	39,5
GRASAS Y ACEITES	27,5
FRUTAS Y HORTALIZAS	6,6
RAÍCES, TUBÉRCULOS Y OTROS	1,4
GRANOS: CARAOTAS, ARVEJAS Y LENTEJAS	28,6
AZÚCAR Y SAL	13,9
SALSA Y MAYONESA	34,7
CAFÉ	34,1

Fuente: Base de Datos Oscar Meza CENDAS-FVM.Caracas, octubre de 2020.
@cendasfvm / cendasfvm25@gmail.com / WhatsApp: 0416 5301670

SALARIO MÍNIMO 400.000 / \$0,88

(写真) CENDAS-FVM “9月の基礎食料費”

「9月 ドル建て預金が先月比35.8%増」

現地金融コンサルタント会社「Aristimuño Herrera & Asociados」によると、9月末の銀行の外貨預金残高は先月から35.8%増え、銀行が預かっている預金総額(ポリアル含む)の56.4%は外貨建てであるとした。

同社の調べでは、ドル・ユーロ等外貨建ての預金額はポリアル建てで約BsS.332.7兆。それに対して、預金総額はBsS.571.8兆だという。

なお、9月末の為替レート(両替テーブルの平均値)は、1ドルBsS.436,677.45だった。同レートで換算すると、BsS.332.7兆は、約7億3,847万ドルに相当する。

外貨建ての預金は着実に増加しているが、9月の先月比35.8%増は、これまでで最も大きな伸びのようだ。

「Aristimuño Herrera & Asociados」によると、特に外貨建ての預金が多いのは国営銀行の「Banco de Venezuela」で、ポリアル建てにするとBsS.220.5兆で、ベネズエラ全体の外貨預金の68.3%を占めているという。

Los Líderes en Captaciones en Moneda Extranjera		
	Captaciones	Cuota de Mercado
Banco de Venezuela (BU)	220.498.849.783	68,3%
Banco Nacional de Crédito (BU)	27.882.185.999	8,6%
Banco Mercantil (BU)	13.500.105.013	4,2%
Banco del Tesoro (BU)	10.937.093.366	3,4%
Banco Bicentenario (BU)	10.281.664.156	3,2%
B.O.D. (BU)	9.845.841.865	3,05%
BBVA Banco Provincial (BU)	6.485.317.370	2,01%
Bancaribe (BU)	6.395.149.009	1,9%
Bancamiga (BU)	4.716.536.448	1,5%
Banesco (BU)	4.520.889.853	1,46%

Cifras en miles de Bs. / Datos a Septiembre 2020
Fuente: Aristimuño Herrera & Asociados

(写真) Aristimuño Herrera & Asociados

「英 GOLD 訴訟 グアイド政権 訴訟費不払い」

ベネズエラ中央銀行が英国銀行に保管している外貨準備の GOLD (10億ユーロ相当)の裁量権を決めるため、マドゥロ政権の中央銀行とグアイド政権の中央銀行の訴訟が続いている。

20年7月 英国裁判所は、グアイド政権に裁量権があるとの決定を下したが、マドゥロ政権側が控訴。10月に英国裁判所は7月当時の決定を撤回している(「[ベネズエラ・トゥデイ No.507](#)」参照)。

10月22日 マドゥロ政権側の中央銀行の弁護を務める「Zaiwalla & Co.」の Sarosh Zaiwalla 代表は、グアイド政権側の弁護団が訴訟の支払い44.3万ユーロの支払いを10月20日の期限内に行わなかったと訴えた。

また、Zaiwalla 氏は、「グアイド政権は訴訟を継続するだけの資金がない」と主張

「仮に義務を果たさなかった場合、裁判所は違反者に罰を貸す権限がある。」と補足した。

「Nabarima 原油船上受け渡し開始」

スクレ州パリア沖で停泊している原油貯蔵船「Nabarima」はメンテナンス不足により沈没の危機にある。同船舶には130万バレルの原油が積まれているとされ、仮に原油が流出した場合は、生態系に大きな悪影響を及ぼすことが懸念されている。

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.513](#)」で、「Icaro」というタンカーが横付けし、原油を船上受け渡ししようとしているとの記事を紹介したが、「Argus Media」が得た情報によると原油の受け渡しを開始したようだ。

ただし、現在の船上引き渡しはあまり効率的な手段で行っていないという。

「Nabarima」は「Petrosucre」の船舶で、「Petrosucre」は ENI と PDVSA の合弁会社。合弁相手である ENI は PDVSA に対してより効率的な解決策を提案しているようだが、この案を行うためには PDVSA と米国の承認が必要だという。

10月22日 ENI はツイッターで本件について投稿。「ENI は、安全に「Nabarima」の原油受け渡しを行うための提案を PDVSA に提出した。

同社の支配権を持つ PDVSA の承認と、米国政府が ENI にも ENI の委託業者にも制裁を科さないという正式な保証を出せば行動に移すことができる。」と投稿した。



Eni's ready to ensure the safe offloading of FSO Nabarima. We've submitted a proposal to PDVSA and we'll be able to proceed only after PDVSA (majority shareholder) approves it and upon formal assurance by the US authorities to risk no sanctions either for Eni and its contractors

10:10 p. m. · 22 oct. 2020



(写真) ENI 公式ツイッター

「家庭用ガス不足 構造的に解決不可能」

ガソリン、電力などベネズエラでは不足しているものが多いが、家庭用ガス（プロパンガス）の不足も深刻な問題となっている。

「Gas Energy Latin America」の Antero Alvarado 氏は、ベネズエラのガス不足は構造的な問題で解決が困難との見解を示した。

Alvarado 氏は

「家庭用ガスは、少なくともガスボンベ1本(10キロ)当たり10ドルで販売しなければ商売にならない。

しかし、経済危機と国民の購買力低下によりほとんどのベネズエラ人がガスボンベ1本に10ドルを支払うことはできない。

通常の家では、ガスボンベ10キロは15日しか持たない。今ではガスは高級品になってしまった」と述べた。

社 会

「カラカス住民の74.1% 食事量減らした」

野党国会が10月12日～14日にかけてカラカス首都区在住の950名を対象に行ったアンケート調査によると、回答者の74.1%は19年12月と比べて食事の量が減ったと回答したという。

ホセ・ゲラ議員は

「経済活動の減少と失業者の増加により、国民の生活状況が悪化している。Covid-19により状況が悪化したことは間違いないが、ベネズエラについては適切な対応を取る政府の不在により、Covid-19だけでは説明が付かないほど状況が悪化している。」

と主張した。

食事量を減らしたと回答した人のほとんどが「牛肉・鶏肉」の量を減らしたと回答している。

また、回答者の82.3%は現在の収入が家族を養うには不十分だと考えているという。

以上